

AT車の知識

変速特性

AT車では、アクセルの踏み込みが少ない程、走行速度に応じてハイギアに早く切り替わるようになっています。ハイギアになる程エンジン回転数が低くなるので燃費がよくなり、エンジン騒音も抑えられます。

クリープ特性

ドライブ(D)やリバース(R)ではアクセルを踏まなくても車は進みます。これをクリープといいます。エンジンが冷えている時やエアコンが入っている時は、アイドリングの回転数が高く、クリープ力も大きくなります。クリープ力に応じてアクセルの踏み込み始めを加減すればよりスムーズな「ふんわりアクセルeスタート」ができます。



アクセルの踏み込みが少ない程ハイギア



クリープを利用してスムーズに発進

Q&A

Q1. ゆっくり発進していたら、後続車の渋滞が起きるのでは？

▶ 混雑している道路では、急いで発進加速しても、前の車にすぐ追い付いてしまったり、次の信号でつかえてしまい、空いている道路では流れにのって走る時間が長くなるので結局発進の違いによる時間差はそれほど影響しないはずです。

Q2. ゆっくり発進していたら、後続車から急かされませんか？

▶ 一般的には、信号が変わっても動かない場合には後続車から急かされるケースが多いですが、青信号に従って発進する場合、「ふんわりアクセルeスタート」のペースならまず問題ないと思われます。

Q3. 加速を素早くして燃費の良い一定速度で走行する距離を長くした方が、むしろ燃費が良くなるのではないか？

▶ 加速時は一定速度で走行する場合より何倍もの燃料を必要とし、一定速度で走行する割合が少々増えても加速時の燃料消費増加を相殺することはできないので、ゆっくり加速した方が燃費はよくなります。

Q4. 「エコドライブ」、「スマートドライブ」、「省エネ運転」といろいろな呼び方がありますが何か違いがあるのでしょうか？

▶ 燃料をよくする運転方法という意味では同じですが、省エネルギーセンターでは、燃費のよい車を選択したり、車の使い方を考えることなどスマートなライフスタイルも含めて「スマートドライブ」と呼んでいます。

スマートドライブコンテスト(2004.10.11, 2005.11.13)

同一車両で、指定のコース(東京都内の一般道56km)を走行し、「ふんわりアクセルeスタート」などエコドライブを実践するとどれくらい燃費の良い走行ができるかを競いました。



2004年のコース:
全走行距離56km
2004年の結果では、燃費改善は、普通の運転に対し
1300cc車: 参加9台の平均で27%の燃料削減
(うち発進部分で10%削減)
2300cc車: 参加11台の平均で25%の燃料削減
(うち発進部分で10%削減)
とすばらしい効果があることが実証されました。
2005年についても、1300cc車20台ではほぼ同じ燃料削減結果が得られました。



ReCoo会員募集



ReCoo(レークー)とは、Reduce CO₂のこと(造語)。楽しく節約しながら地球にもやさしい運転するために燃費管理やエコドライブのアドバイスなどのいろいろな情報を提供する会員制サイト(無料)です。

さあ、あなたも是非会員に！

アクセスはこちらから→ <http://www.recoo.jp>



運営体制 主体: 財団法人 省エネルギーセンター
幹事: 社団法人 日本自動車連盟、交通エコロジーモビリティ財団、
独立行政法人 環境再生保全機構
協力: 社団法人 日本自動車工業会、チームマイナス6%

財団法人/省エネルギーセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-19-9 ジオ八丁堀ビル
TEL. (03)-5543-3835 FAX. (03)-5543-3021
ホームページアドレス <http://www.ecc.or.jp/>

PRINTED WITH SOY INK R100
※資源の有効活用のため、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。
※この印刷物は環境に優しい植物性大豆油インクを使用しています。



発進時の基本操作



ふんわり アクセル

eスタート

地球にやさしい思いやり



経済産業省 資源エネルギー庁

財團法人 省エネルギーセンター



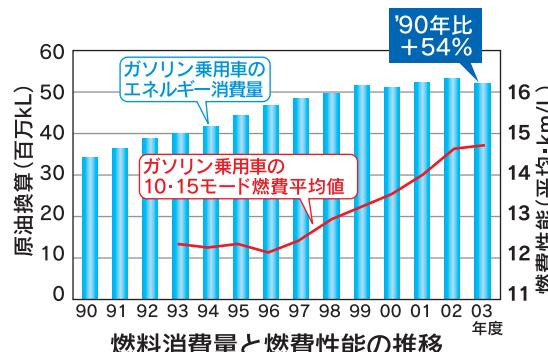
地球の温暖化防止のため、日本はCO₂の発生量を2008年～2012年の間に1990年度に比べ6%削減を国際公約(京都議定書)して各方面でさまざまな取り組みがされています。

■いつこうに減らない乗用車のCO₂排出量

国産乗用車の燃費性能や道路インフラが毎年着実に改善されていますが、これらの効果が数値として現れるには長い期間が必要です。2003年度では、乗用車のCO₂排出量は1990年度に比べ大幅に増加しています。

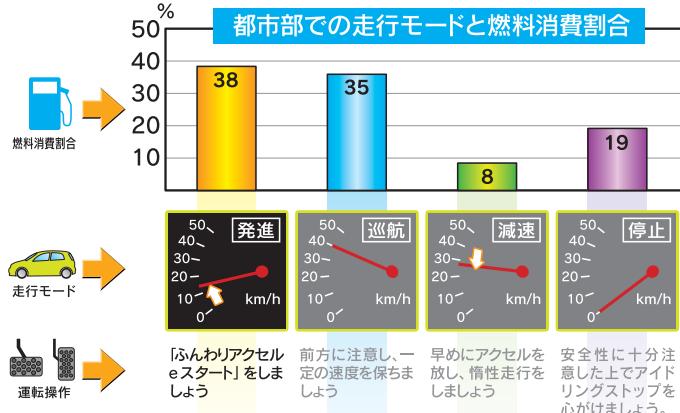
■鍵をにぎるエコドライブ

乗用車の保有台数は全国で5700万台、私たち一人一人がエコドライブを実践すれば大きな効果が期待できます。

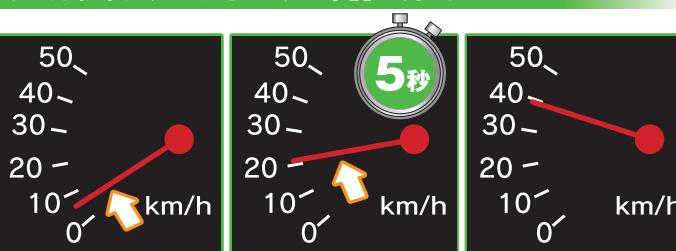


エコドライブの基本操作

運転は、発進・巡航・減速・停止の4つの走行モードに分類できます。燃料消費を少なくするには4つの走行モードの特性に応じた適切な運転操作をする必要があります。たとえばGO-STOPOの多い都市部における一般的な運転では、燃料消費全体の約4割を発進時に消費しています。このリーフレットは「ふんわりアクセルeスタート」について説明しています。

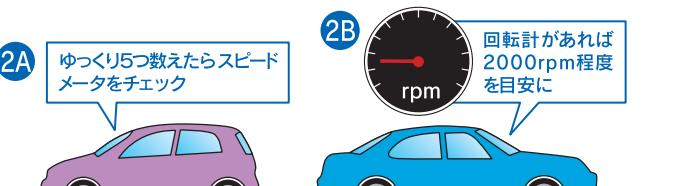


「ふんわりアクセル『eスタート』」の方法



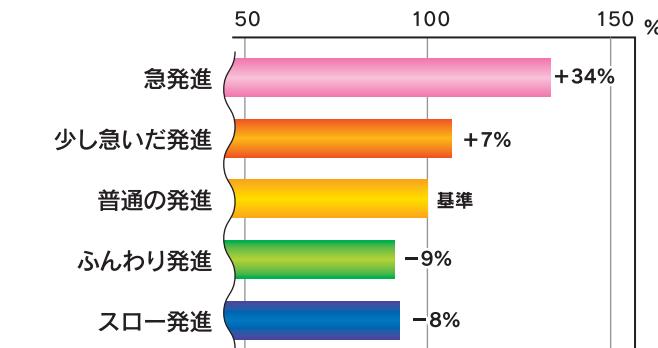
ブレーキから足を放し1呼吸おぐくらいでアクセルへ移します。
アクセルは、なめらかに、ゆっくり踏み込みます。
流れにのる少し手前でアクセルを緩めるとスマーズに走行できます。

ポイント
最初の5秒で20km/hになるくらいのペースが目安です。
自分にあった方法で試してみてください。



加速のしかたと燃料消費量の割合比較

少し、ゆっくりするだけで大きな効果!
普通の発進にくらべ燃料消費が約10%節約できます。

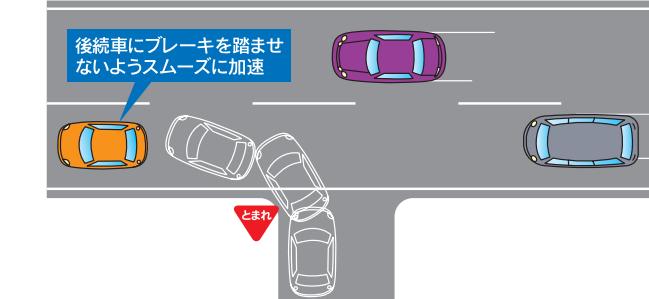


ワンポイントアドバイス

●燃費計装着車の場合、安全に注意して燃費計を活用しましょう。

最近では、燃費計を装着した車が増えています。燃費が瞬時に判ればエコドライブの効果を確認したり、レベルアップに大変有効です。

●周りの状況に応じてスマーズに加速しましょう。



●基本操作と合わせて実施するお勧め実践テクニック

